

である方が多くいらっしゃいます。この例会の会場でも営業活動をさせていただいたこともありますし、さらに他の方をご紹介いただいたこともあります。今の私の心境は、この皆様に支えられ、導いていただいていることに心からの感謝でいっぱいであり、また、機会を与えていただいた恩に対し誠心誠意、報いようと心がけております。逆にその恩を裏切ることは、信用信頼を失うことは、とりもなおさず例会で出てこれなくなることであります。この社会から退場させられることであります。私のような下賤

な人間は、このことによってかろうじて己の商いの倫理観を保っております。

私ごときが、このクラブの一員たる今日を享受できることを考えれば、諸先輩方には、「ロータリーはチャンス場だよ」といっていただければ、例会の出席率向上はもとより、会員増強・退会防止にはもっと効果を示すのではないのでしょうか。同期入会で既に退会された心の友人を思うとき、さらにこの思いは強くなります。

三毛理一郎 会員 在籍50年お祝い会



山本さんにご長女誕生 おめでとうございます。



ありがとうございました

三毛理一郎さん 家内の誕生日に美しいお花を有難うございました。
 三毛理一郎さん 週報のファイルをお買い上げ頂いて。
 野井 晋さん 家内の誕生日に美しい花をお届け下さり有難うございました。
 谷口 文利さん 山本さんご長女の誕生まことにおめでとうございます。
 岸裏 廣澄さん 亀田委員長よろしくお祈りします。
 亀田 直紀さん 本日のクラブフォーラムよろしくお祈りいたします。山進さん第2子誕生おめでとうございます。
 櫻畑 友洋さん 亀田さん楽しみにしています。
 島 公造さん 亀田さん本日はご苦労様です。お話し楽しみにしています。

山本 進三さん 9月28日午後2時7分第2子女の子が生まれました。2808gでした。残念ながら家族会議が難航し、名前はまだ決まっていません。また先週、妻の入院のため、例会を欠席して申し訳ありませんでした。これからもよろしくお祈りします。
 乾 敦雄さん 山本さん第2子誕生おめでとうございます。
 阪神タイガース応援団一同
 いよいよ5位確定しましたが来年こそはでがんばります。

本日の累計 40,100円(計9名 11件)(お誕生日お祝い 143,000円 皆出席表彰 10,000円 その他 751,710円 累計額 904,710円)

本日の例会 10月11日(木)

- クラブフォーラム「米山記念奨学会」
- 卓話 2640地区米山記念奨学委員長 谷野 一彦さん
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
GIFT (Mr.children)
祈り～涙の軌道 (Mr.children)

次回の例会 10月18日(木)

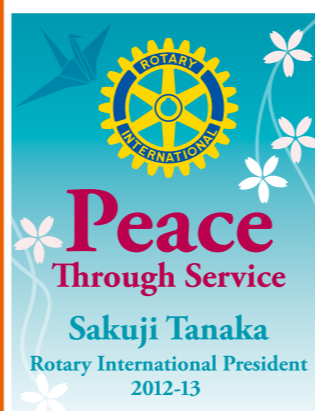
- 卓話「労働トラブルから大事な「会社」を守るための対策」
社会保険労務事務所「トラヴェシア」 平松 利麻さん

前回の例会 10月4日(木)

- クラブフォーラム「職業奉仕」
- ロータリーソング 山東 勝彦 ソング委員長
「奉仕の理想」

メイキャップ情報 (敬称略)

9月30日(日) 大阪千代田R.C. 松田 洪毅



「確信と絆で作ろう、希望の未来へ!! 今日より一歩」

「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**
 URL <http://www.werc.jp> E-mail info@werc.jp

2012年10月11日(木)

週報 / VOL.54 No.14(通巻2560)

会長報告

島 公造 会長



皆さんこんにちわ。さてこの一週間ですが頼りの無い、民主党は野田さん、パワーを感じさせる自民党は安倍さんとなんだかんだあるおかげで事業の低迷を忘れさせてくれ、有り難いと思っておりますが、この日曜日台風17号もゴルフを休んで構えていたのですが、良い事ですがスピーディーに軽く通過しました。はや10月。秋の虫たちの鳴き声。少しは人間を感じさせてくれるこの時を大事にしたいです。そして又うれしい事がありました。我がクラブ幹事・山本進三君に赤ちゃん誕生! じょうずに産み分けられ女の子でございました。おめでとうございます!

幹事報告

山本 進三 幹事



下記のお知らせ・案内が来ましたので回覧します。
 ・和歌山新報より、創刊20周年記念祝賀会出席のお礼状と協賛広告記事
 ・NPO法人花いっぱい推進協議会より、第12回ガーデニングコンテスト作品募集および寄せ植え体感のご案内
 ・岩出ロータリークラブより、新世代講演会のご案内
 ・公益財団法人吉野川紀の川源流物語より、先日の卓話と募金についてのお礼状

祝 ノーベル賞受賞

8日、今年のノーベル医学生理学賞に山中伸弥・京都大教授(50)が受賞されました。人工多能性幹細胞(iPS細胞)の開発を発表してからわずか6年。50歳の若さで最高の栄誉を手にした。(毎日新聞)



クラブフォーラム「職業奉仕」

亀田 直紀 委員長



今日は、職業奉仕についてのクラブフォーラムです。このクラブフォーラムを通じて、職業奉仕の理解を深めたいと思うんですが、今回は、今回というのは、実は私は2007年から2008年に一度職業奉仕委員長をさせていただいておりましたが、その時もクラブフォーラムで発表させていただいたんですが、この時は職業奉仕そのものを研究対象として、日本の文化論や倫理観などの価値観から考察を行いました。初めての委員長職ということもあり、一生懸命に取り組んだのは間違いないんですが、私には独自の世界に浸りすぎるきらいがありまして、その研究成果の客観性には本当に自信がありませんでした。

し、4月15日に開催されました地区協議会に参加し、その時に頂いた資料を拝見したところ、ガバナーのお考えの中に、私が発表したものとほぼ同じとらえ方をしたものがありませんでした。私としては、これで、自分の検証に自信を持ってましたし、また、この考えを日々の経済活動において実践していることが、職業奉仕そのものであると確信したし、だいでございます。

ただこの一点をもって、難しいといわれる職業奉仕を理解したといえるわけではありませんが、大変恐縮ですが、今回は、理解したとみなしていただいた上で、一般論から離れ、今、ロータリークラブがかかえる問題点を職業奉仕の観点から考察したいと思います。哲学的な要素が非常に色濃い「職業奉仕」そのものを研究するのではなく、今般の混乱や、毎回の例会、会員増強を念頭においた職業奉仕

ところが、本年、再度この職業奉仕委員長をお引き受け

出席報告

会員数 44名(内出席規定適用免除会員16名) 山東 勝彦 出席委員長

10月4日(本 日) 21名 61.8% 9月20日(メーキャップ後) 34名 94.4% (欠席2名)

皆さん、出席してください。

の理解に挑戦する機会とさせていただきたいと思います。

さて、本題に入りたいとおもいますが、結論的に申し上げますと、私はこれまでの職業奉仕を突き詰めるとロータリークラブは自滅すると思います。それは、定款・細則の諸規定と職業奉仕に関する発表に大きな矛盾があるからです。

この矛盾についてお話したいと思います。私たちのクラブの定款・細則の第7条第1節に会員資格についての規定があります。そこには「クラブは、善良な成人で、職業上良い世評を受けている会員により構成される。」とあります。ということは、これに該当しない人はロータリアンにはなれないということであり、厳密にはイコールというわけではありませんが、ロータリアンであるならば、一定の社会的評価に値する職業倫理に基づき日々の生業に既に取り組んでいるということではないでしょうか？　ところが、職業奉仕は、その完成され、すでに評価を受け入会まで果たしている人に対し、ことさらに職業における倫理性を要求し、あたかも入会後に教育しようとするような、今風にいえば、上から目線で、いろんな要求をします。これが、矛盾でないとするならば、職業上の良い世評とは、単に金儲けがうまいとか、たくさんの人を雇用しているとかの意味と解さなければなりません。

さらに付け加えると、世評つまり社会の評価を得ている人に対しより厳しいことをいうということは、ロータリーはロータリーを除く社会よりも、上等で立派であるという前提がなければなりません。つまり社会がOKしてもロータリーは簡単にOKしないよ。ということでもあります。かなり上から目線です。

話をもとに戻しますが、職業上良い世評を受けている人が仕事をする上で、職業上良い世評を受けている人をパートナーするのは当たり前で、また逆に、職業上良くない世評を受けている人をパートナーに選ぶ人に職業上良い世評は獲得できません。これまた厳密にはイコールではありませんが、言い換えれば、ロータリアンの仕事のパートナーは、既にロータリアンとなっているか、もしくは新規に入会を是非お勧めしたい人たちでなければならないということではないでしょうか？　そして新規のパートナーを求めるとき、最も手っ取り早く、また確実に職業上良い世評を受けているロータリアンから選ぶのが必然ではないでしょうか。何故なら、いくらインターネットが発達し、多くの選択肢が我々の前に現れたとしても、自分が必要する事柄を全世界に発信することは不可能ですし、また、全世界から情報を得ることも不可能であるからです。

はたして、同じクラブに在籍するロータリアンである必要はありませんが、この考え方を突き詰めれば、ロータリークラブは、職業上良い世評を受けた人たちのブロック経済を形成すべきであります。このブロック経済が社会に対し大きなシェアを占めるとき、いまだロータリアンとしての資格を有するに至っていない人々が、ロータリーのブロック経済に仲間入りするために、その倫理性を高め、良い世評を得るために、その行動を変えるのではないのでしょうか。ちょうど不平等条約の改正を目指す明治の日本政府が、欧米列強がその条件とした憲法制定を急いだことや、日本が国際貿易に参加し、その利益を受け続けるためにTPP参加にむけて

準備するのと同じようなものだと考えます。つまりロータリーは善良な職業倫理を実践している人々のリーグなのです。

ところが、1989年に発表された「ロータリアンの職業宣言」では、このことを全く念頭においていません。先日開催された地区協議会主催のクラブ職業奉仕委員長会議で配布された資料の中から、その「ロータリアンの職業宣言」と2011年の「ロータリーの行動規範」を抜き出して配布しておりますので、ちょっと読み上げたいと思います。

ロータリアンの職業宣言（1989年）

「職業宣言」は、ロータリーの綱領に記されている高い道徳的水準をさらに明確に定義する手段として、1989年の規定審議会で採択されました。

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私には以下のごく行動することが求められている。

1. 職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳規準に対し、名実ともに忠実であること。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公正であること。
5. 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すこと。
6. 自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めること。
7. 広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
8. 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

以上です。

私は、非常に不遜で慎みのない人間でありますので、上から目線でものをいわれるとすぐに反発してしまいがちですが、これらは、非常に反発したくなる内容です。先ほど来、申し上げておりますように、ロータリークラブで、私以上に包装資材販売における職業倫理を語れる人間がおりますでしょうか。すくなくともこのクラブにはご同業の方はおりませんので、包装資材販売とは何なのかさえご理解いただくのも難しいでしょう。ちなみに私の職業は、経済産業省の職業分類でもその他のその他になり、分類にすらなっておりません。

また、話がそれてしまいましたが、この宣言で最も問題なのは8番であります。先ほど来申し上げておりますように、こんなこと書かれたら、パートナーをロータリアンから選ぶことが怖ってしまうじゃないですか。いや、それだけではなく、この宣言に忠実であればあるほど、例会でこのように顔を合わせる機会があるにもかかわらず、職業上の話ができなくなります。だって、それぞれの企業や職域のリーダーである皆様が、今、何に取り組んでいるか、これからをどう考えているか、どんな問題点をもっているか

を知りえる機会であるこの例会のことを「普通には得られない便宜ないし特典」といわずして営業職などありえません。その情報を得るために世界中の営業マンが、毎日、昼に夜に面談の機会を狙っているわけですから。

そうすると、会話の中心は仕事からはなれ、自身の健康問題や、旅行やゴルフの趣味の同好会と変わらないものになります。そして「例会出席がロータリーの根幹だ！　他団体にない特色が職業奉仕だ」なんて言われれば、会員数減少はもはや必然といえるでしょう。ちなみに2640地区の会員数は、おしなべていえば、90年までは増加、90年から2000年までは横ばい、そして97年のピークを境に2000年以降は減少の一途であります。9月22日に開催された地区協議会の職業奉仕委員長会議でも、あるクラブの委員長さんは、この宣言は会員減少抑制には効果はなかったという趣旨のことを発表されていました。控えめな表現であると思いますが、私も同感であります。いやむしろ、悪影響だったかもしれないと、私は考えます。

会員減少が始まった当初の2001年というのは、ロータリーにとって画期的な年であります。どう画期的かといいますと、職業分類に関わる定款が変更された年であります。以下に2660地区のホームページに書いてあった文章を読み上げます。

「職業分類は、従前は1業種1名を原則としていましたが、2001年の規定審議会での決定により、現在は1業種5名を原則とし、さらに会員数が51名以上のロータリークラブでは、全会員の10%を超えない範囲で、正会員として迎え入れることができるように変更されました。1業種1名では、地域の職業の種類分布状況によっては、会員増強に限界があります。上記の変更により、同一業種の会員候補者が沢山居る地域でも、会員増強が比較的容易になり、地域社会への更なる貢献が期待出来るようになりました。また、他クラブからの移籍会員、職業分類として以前の職種を使用することになる職業から引退した正会員、再入会した元会員、ロータリー財団学友は、1業種5名の枠の外になりますので、会員増強の可能性は、さらに高くなりました。また、正会員が職業分類を変更した場合も、新しい職業分類で会員身分を継続して保持できます（RC定款第8条第2節）。」とあります。

はたしてこの文章は本当でしょうか。改正された事実をいっているのではなく、その目的や効果についてです。先ほどの宣言の8番によると、特典を求めもしないし、与えもしなければ、1業種何人いようともクラブ内の平和は、簡単に保つことが出来ます。

たとえば、ここにJALとANAの支店長がメンバーとしていたとします。ある社長が例会で、出張経費がかさむことや社内での清算処理の手続きの煩雑さを口にします。それを耳にした両支店長ですが、それぞれの会社の機能を説明し、その問題を解決するノウハウを持っていることを表明する機会としてはいけないことになります。そもそもその社長が、そんなことを口にする事自体が宣言違反です。当然、両支店長は、セールストークを展開できませんから、クラブメンバー同士を比較することもありませんし、両支店長のセールス競争も生じません。これでクラブ内の平和

は保たれます。これは、一見平等に見えますが、結果の不平等を恐れるあまり、全てのものに機会を与えないことによって競争を排除し、このことによってしか平等を保てないと考える、間違った日本の風潮、極言すれば、教育界における「運動会で全員一等賞」と同じメンタリティーではないでしょうか。

次の資料も読み上げたいとおもいます。

ロータリーの行動規範（2011年）

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
2. 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
3. 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
4. 他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
5. 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
6. 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
7. ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

以上です。

思うに、どなたかがこの悪平等に気づき、そしてその反省に基づき、今、読み上げました「ロータリーの行動規範」が2011年に発表されたのではないかと思います。注目すべきは、やはり8番であります。「求めるな」の部分は変更がありませんが、「与えるな」は削除されています。私なりにこの変化を解釈しますと、「クラブに入会しても何も特典がないことを宣言しては、さすがに会員減少は抑制できない。まああまり露骨に営業するつもりで例会にこられるのは困るが、入会をお誘いする以上は、幾分かチャンスはそこにあるよ」ということにはしたのではないのでしょうか。去年にあった変化であります。

これが私の2回目の職業奉仕委員長としての見解です。最後にもう一度、結論を申し上げます、職業奉仕を難解な哲学としてとらえてはいけません。難しい難しいといっていると無知になります。無知は恐れを導き出し妄信が生まれます。不平等がこわいから、競争が怖いから「触らぬ神にたたりなし」になります。あまりの怖さに神棚にしまいこんで拝みはじめます。拝めば鎮まり、鎮まった神の啓示を、下々の者は付度し始めます。やがて、いろんな解釈がうまれ、宗派ができて、分裂しはじめます。ですから、ロータリーは自滅すると最初に申し上げました。

最後に私事で恐縮ですが、今、ここにお集まりのメンバーの中には、会社としてお取引いただいておりますお客様